

図書館を利用しない／する理由(1)

佐藤翔の場合

- 利用しない理由
 - 電子ジャーナルで用が足りる
 - 研究室の方が作業環境がいい
- 利用する理由
 - 電子化されていない資料の利用
 - 館外持ち出し不可の資料を使う作業
 - ソファで寝転がって読書(そのまま寝る...?)

図書館を利用しない／する理由(2)

もうちょっと一般的に

- 利用しない理由

- レジューメ、教科書、ノートがあれば勉強できる
- 行く暇がない(バイト、サークル)
- そもそも勉強／学習をしてない？

- 利用する理由

- レポートや卒業論文の執筆(人文・社会系など)
- 時間が空いたからなんとなく
- 新聞や一般誌を読む
- 恋人を迎えに行く

図書館を利用する2つの理由

- 必要に迫られて利用する

- 必要な資料がそこにしかない
- 他に作業をする環境がないetc...

⇒・利用が多い ≠ 良い図書館...?!

- 行きたい図書館だから利用する

- 居心地がいい、「なんとなく」行く気になる
- 選択肢の中から選ばれる図書館

⇒・利用が多い = 良い図書館...?!

切り分けの難しさ

こんな図書館はダメ

- 必要に迫られて行ったのに需要に上手く応じていない図書館
 - 排架位置がわかりにくい、複写に時間がかかる、必要な資料がないetc...
- 行きたくない図書館
 - 家具の使い心地、無線LAN等の環境、利用可能なスペースの問題、デザイン
- 必要にも応じていないしなにもない時に行きたくもない図書館

図書館のこんなところがダメ

- 2つの理由の存在が意識されていない？
 - 利用がないのが悪いこととは限らない（電子環境を整備すれば必要に迫られた利用は減るはず、「利用者の時間を節約せよ」）
 - 仕方なく使っていることと好んで使っていることの混同
- 「行きたい図書館」を目指しつつ「必要に迫られた」人にも対応するには...？